



Ideas & Chemistry

2013.11.06

2013年度第2四半期 決算説明会



東洋紡株式会社
取締役社長
坂元龍三

決算のポイント

上期実績

■ 営業利益、前年同期比48%増

- 工業用はやや回復も、包装用は価格改定が遅れ、フィルム苦戦
- ライフサイエンスの拡大、繊維の回復が増益寄与
- 経営課題である海外展開や新製品拡販も進展

通期予想

- ### ■ 包装用フィルムの収益好転、新製品の拡販等を見込むも、 原燃料価格、液晶市場の不透明感もあり、通期利益は据置く。

(億円)

	12年度					13年度				
			上期	下期				上期	下期(予)	
	1Q	2Q				1Q	2Q			
売上高	831	881	1,711	1,679	3,390	853	892	1,745	1,755	3,500
営業利益	22	54	76	94	171	52	61	113	107	220
当期純利益	5	22	27	49	76	30	22	52	43	95

目次

I

2013年度第2四半期累計決算概況

II

2013年度業績予想

III

経営課題進捗

IV

訴訟

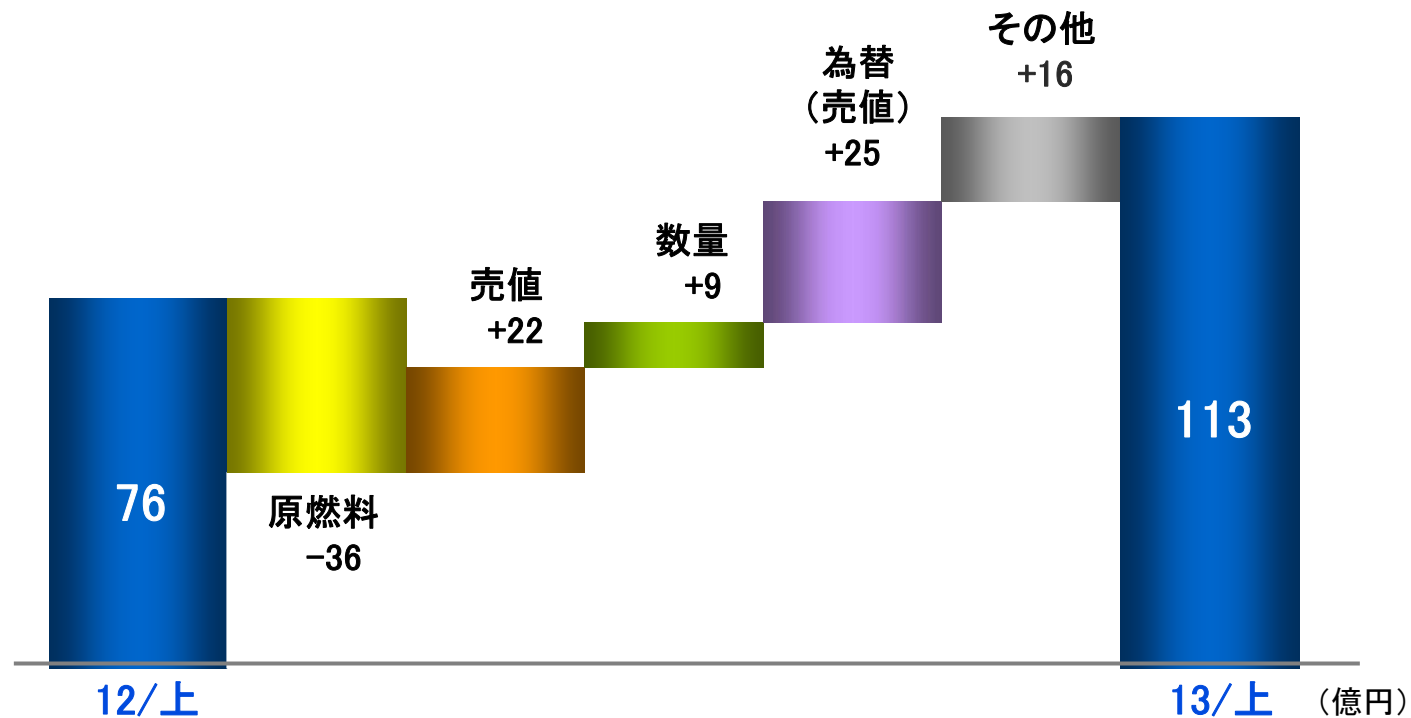
I . 2013年度第2四半期決算概況

(1) 決算概要 ①PL・CF

	12上	12下	13上	(億円) 前年同期比		直近見通し (2013/8)
				金額	率	
売上高	1,711	1,679	1,745	+34	+2.0%	1,720
営業利益	76	94	113	+36	+47.6%	100
(率)	4.5%	5.6%	6.5%	—	—	
経常利益	65	90	108	+43	+66.5%	90
当期純利益	27	49	52	+25	+90.8%	43
EPS(円)	3.1	5.6	5.8	—	—	4.8
減価償却費	64	68	68	+4	+5.7%	
設備投資	68	112	110	+42	+61.7%	
営業CF	146	158	170	+24	+16.4%	
為替レート(円/US\$)	79	87	99			
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	60	65			

営業利益増減要因分析（前年同期比）

【12年度上期→13年度上期】



	12上	13上
円レート (¥/\$)	79	99
国産ナフサ (千円/kl)	55	65

②BS

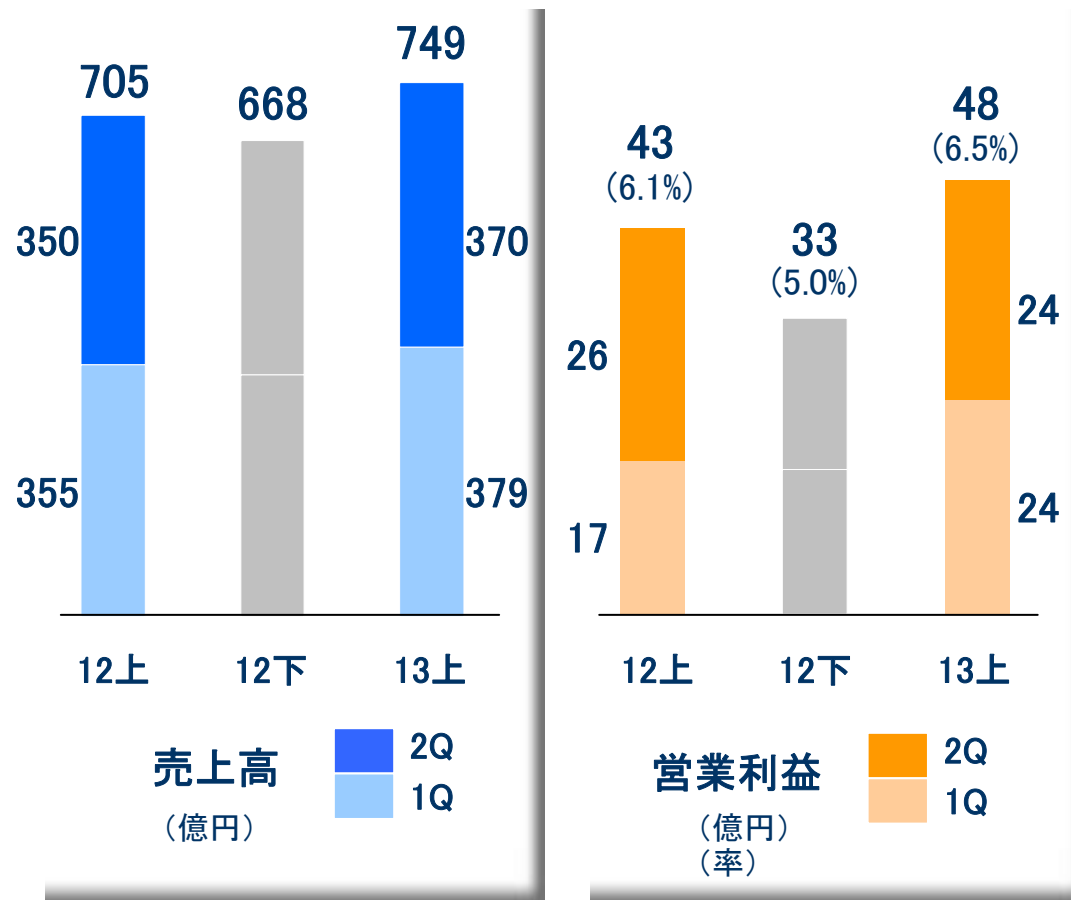
	12/3末	13/3末	13/9末	(億円) 13/3末比 増減
総資産	4,378	4,474	4,465	-9
うち棚卸資産	776	710	726	+16
純資産	1,477	1,555	1,605	+50
自己資本	1,306	1,380	1,430	+50
(自己資本比率)	29.8%	30.8%	32.0%	
有利子負債	1,549	1,594	1,525	-69
D/E レシオ	1.19	1.16	1.07	

(2) セグメント別

		(億円)						前年同期比 (率)
		売上高			営業利益			
		12上	12下	13上	12上	12下	13上	
	フィルム・機能樹脂	705	668	749	43	33	48	+12.2%
	産業マテリアル	350	368	347	26	29	23	−9.3%
	ライフサイエンス	126	122	131	16	26	26	+63.8%
	スペシャルティ計 (率)	1,182	1,159	1,226	85 7.2%	88 7.6%	98 8.0%	+15.3%
	衣料繊維	408	384	397	−5	7	18	
	不動産・その他	121	136	121	12	15	14	
	消去・全社	−	−	−	−16	−15	−17	
	合 計	1,711	1,679	1,745	76	94	113	+47.6%

① フィルム・機能樹脂

工業用フィルムは液晶用途がやや回復
 包装用フィルムは価格改定遅れにより苦戦



● 工業用フィルム

- ・スマホ、タブレット向けが堅調に推移
- ・SRFはユーザー評価進む

● 包装用フィルム

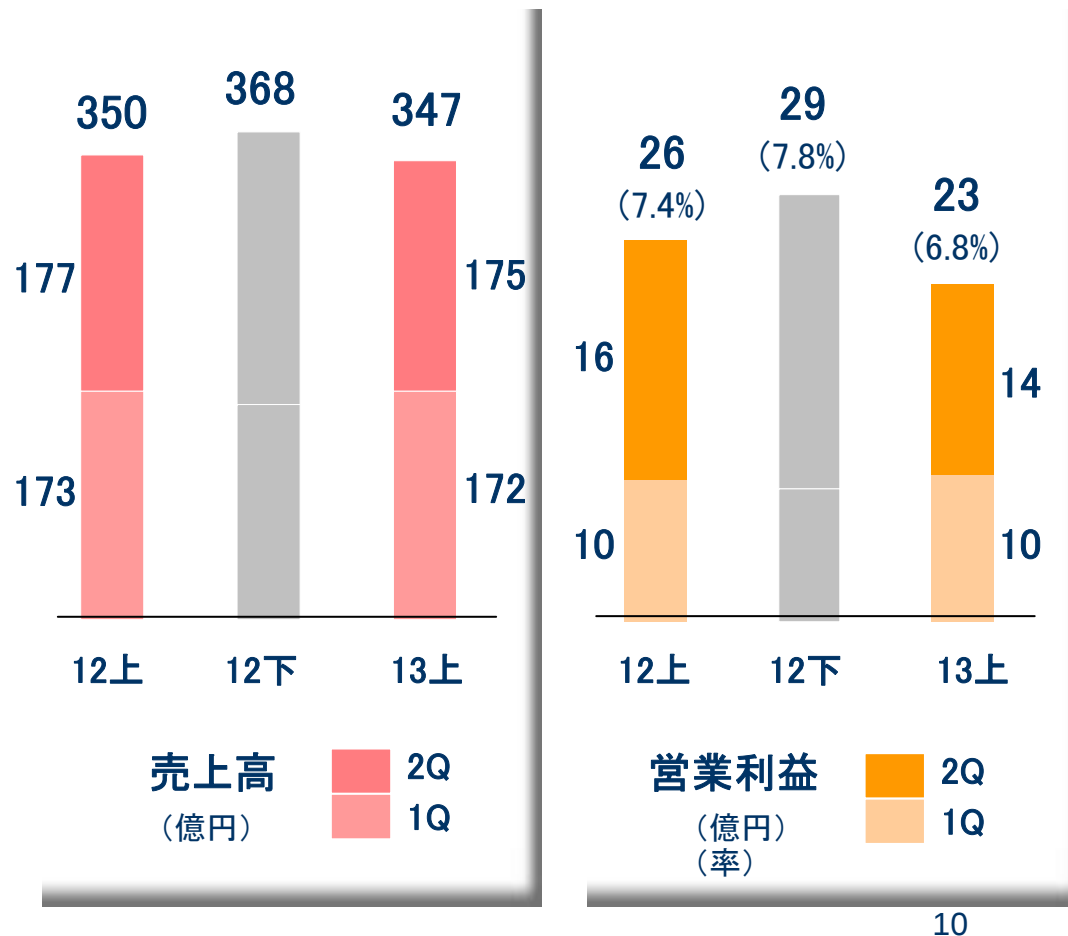
- ・天候不良により食品用で需要低迷
- ・2Q末より秋需もあり回復傾向

● 機能樹脂

- ・“バイロン”は中国向けが苦戦
- ・海外自動車向け、好調に推移

② 産業マテリアル

エアバッグ堅調、生活産業資材は好調
機能フィルターは苦戦続く



● 自動車用途

- ・エアバッグは北米中心に堅調
- ・タイヤコードは計画通り生産終了

● 生活産業資材

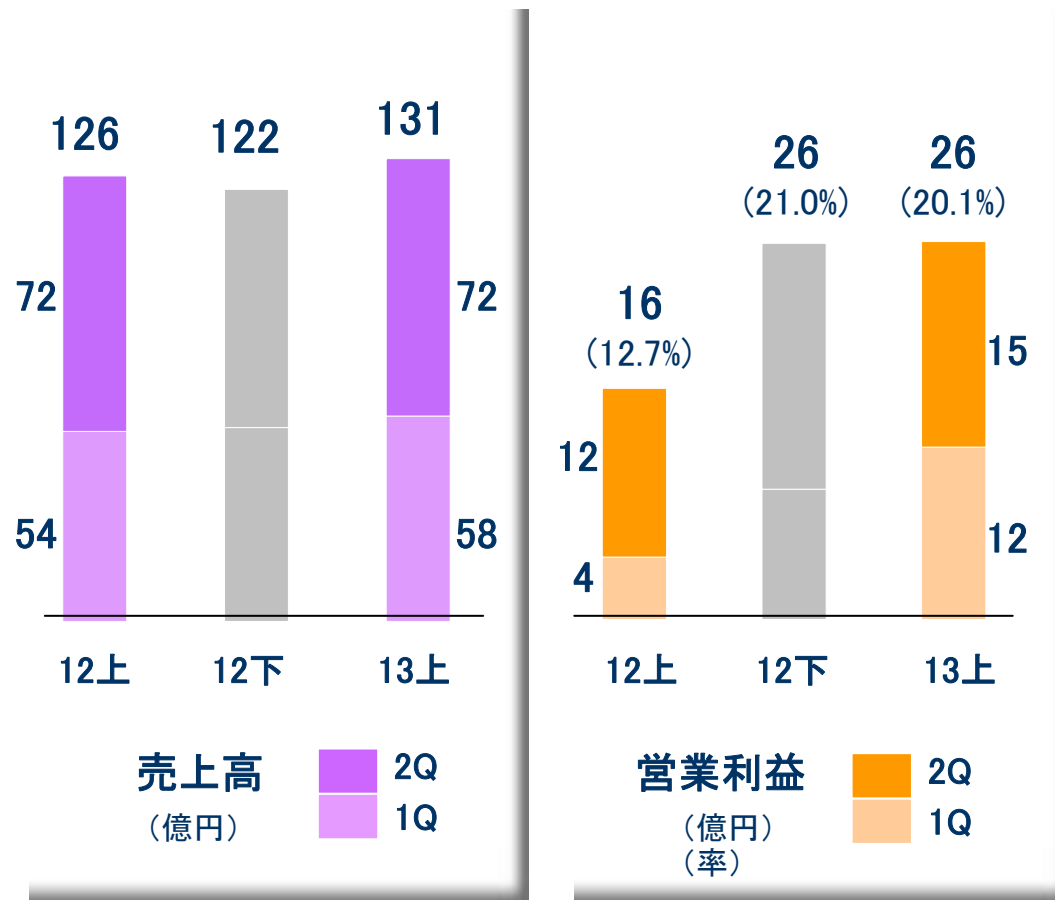
- ・機能性クッション材が好調 (“ブレスエアー”)

● 機能フィルター

- ・VOC*処理装置がアジアで遅れ
* 揮発性有機溶剤
- ・事務機器用などフィルター数量減

③ ライフサイエンス

診断薬用酵素、医薬が好調 “ナーブリッジ” 保険適用開始



● バイオ

- ・診断薬用酵素が国内外で好調
- ・円安も貢献

● 医薬・医療機器

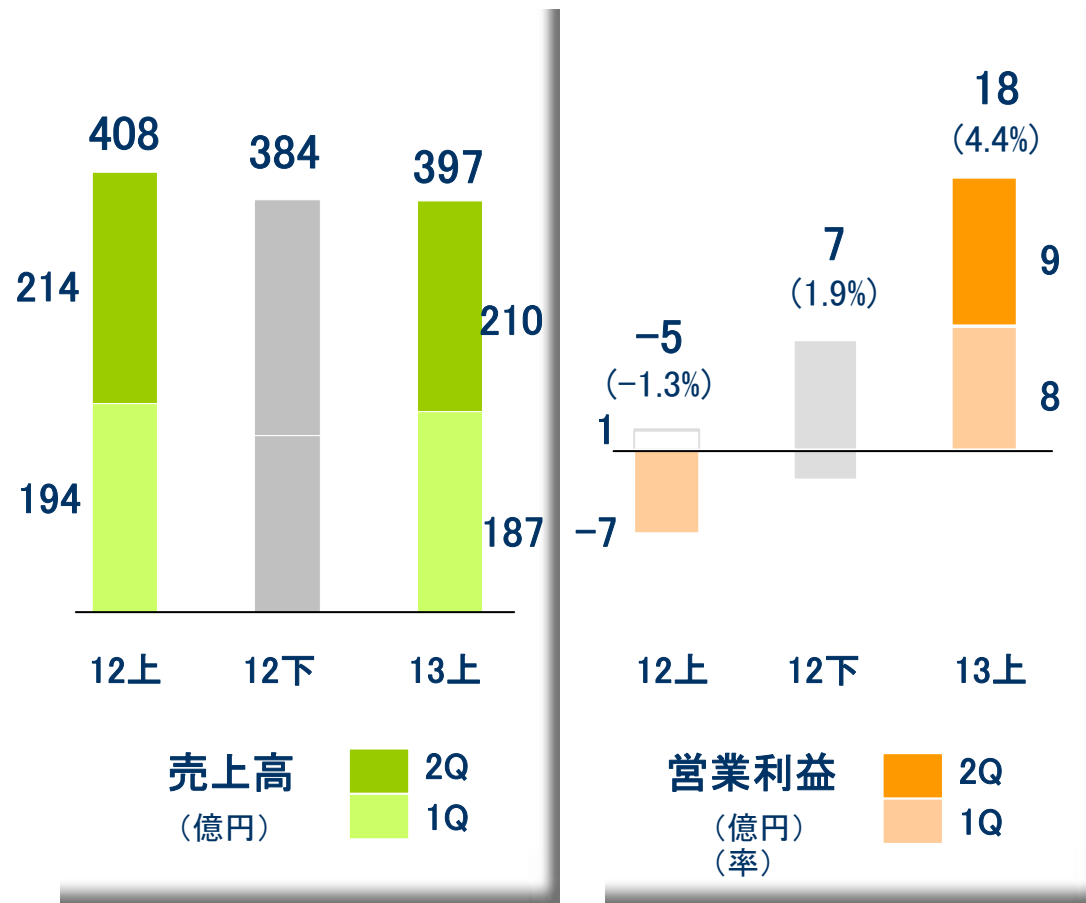
- ・医薬品製造受託は新設備が稼動
- ・“ナーブリッジ”の本格販売開始

● 機能膜

- ・アクア膜は新規、交換ともに出荷順調

④ 衣料繊維

為替影響により、スポーツ製品は収益悪化、
中東向けは大幅改善



● 東洋紡STC

- ・中東向けトーブは数量も堅調
- ・スポーツ製品は海外生産品のコストアップで苦戦

● アクリル繊維

- ・中国向けが堅調で円安も貢献

Ⅱ. 2013年度業績予想

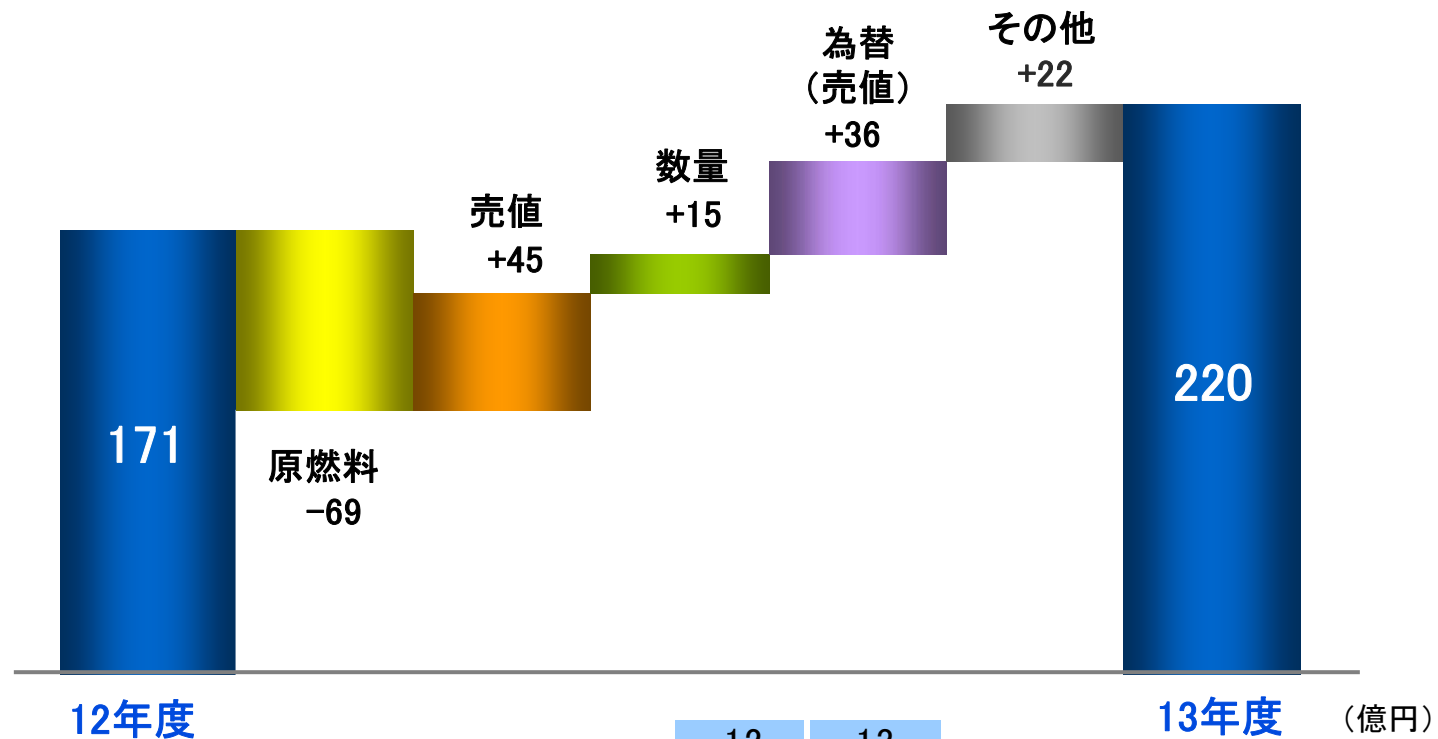
(1) 業績予想

(億円)

	12年度実績	13年度予想			増 減	
		上	下		金額	率
売上高	3,390	1,745	1,755	3,500	+110	+3.2%
営業利益	171	113	107	220	+49	+28.8%
(率)	5.0%	6.5%	6.1%	6.3%	—	—
経常利益	155	108	87	195	+40	+25.6%
当期純利益	76	52	43	95	+19	+24.4%
EPS(円)	8.6	5.8	4.9	10.7	—	—
減価償却費	132	68	72	140	+8	+5.7%
設備投資	180	110	70	180	-0	-0.2%
為替レート(円/US\$)	83	99	97	98		
国産ナフサ価格(千円/KL)	58	65	68	67		

営業利益増減要因予想

【12年度→13年度】



	12	13
円レート (¥/\$)	83	98
国産ナフサ (千円/kl)	58	67

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益			
	12年度	13年度予想			12年度	13年度予想		
		上期	下期			上期	下期	
フィルム・機能樹脂	1,374	749	741	1,490	76	48	48	96
産業マテリアル	719	347	363	710	55	23	28	51
ライフサイエンス	248	131	139	270	42	26	28	54
スペシャルティ計 (率)	2,341	1,226	1,243	2,470	173 7.4%	98 8.0%	103 8.3%	201 8.1%
衣料繊維	792	397	393	790	2	18	8	26
不動産・その他	257	121	119	240	27	14	12	26
消去・全社	－	－	－	－	－31	－17	－16	－33
合 計	3,390	1,745	1,755	3,500	171	113	107	220

Ⅲ. 経営課題進捗

アクションプラン

1 能力増強投資

競争力のあるスペシャルティ事業へ



- 新フィルム製造設備
(13年度下期稼動)



- 医薬受託製造設備
(13年4月稼動)

2 海外展開加速

- タイにおけるバイロン製造販売会社の設立
(13年度下期稼動)
- アジア・北米におけるエアバッグ基布の製造・マーケティング基地の設立
- スペインの診断薬・診断機器製造販売会社の買収
(13年7月31日)

3 新製品

- 神経再生誘導チューブ
“ナーブリッジ”
- 液晶用ポリエステルフィルム
“コスモシャイン” SRF type
- ペットボトル用
収縮ポリエステルフィルム
“スペースクリーン” new type

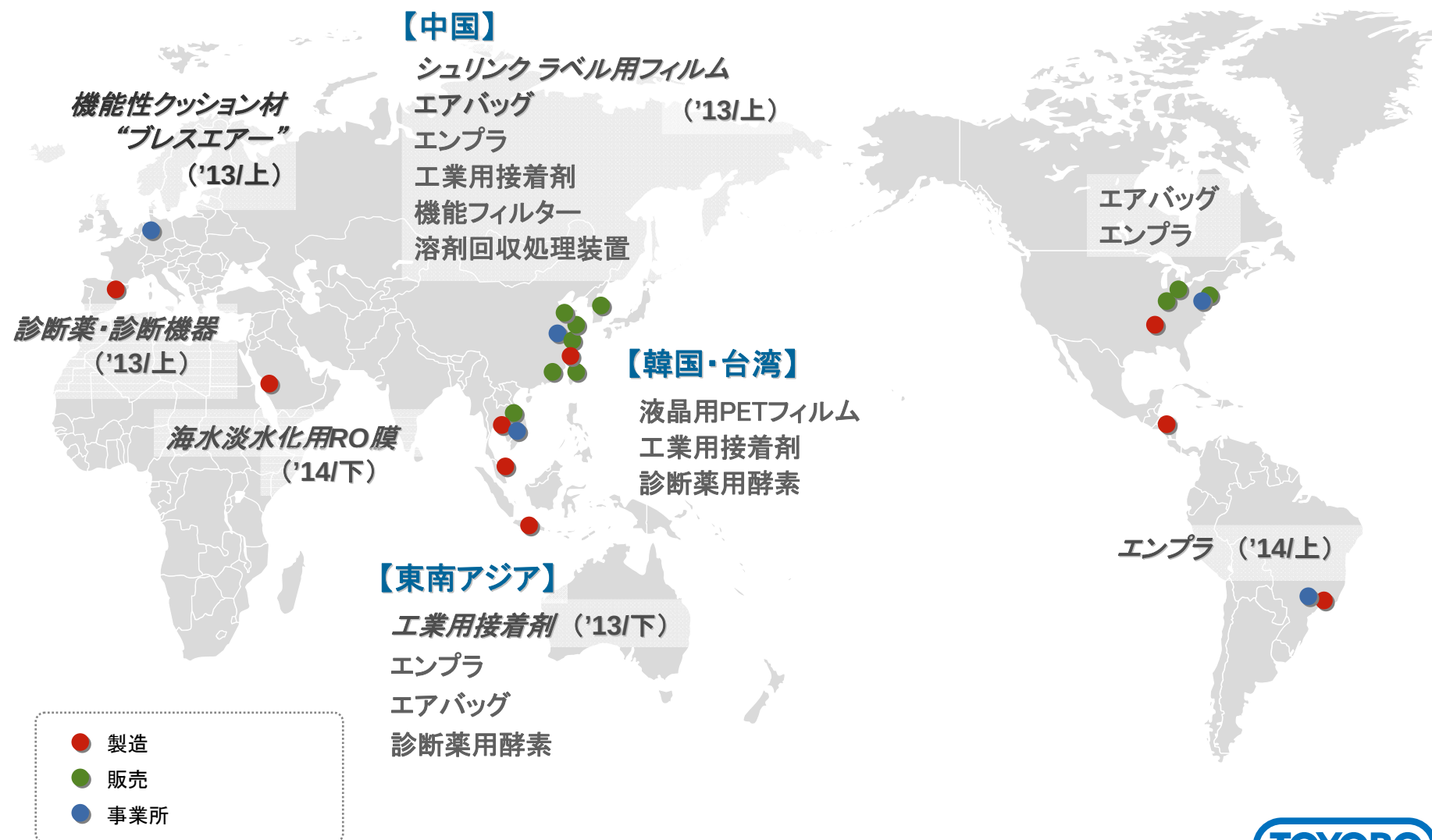


4 資産効率向上

- ポリエステルタイヤコード事業からの撤退
-13年9月
生産終了
-13年12月
販売終了予定



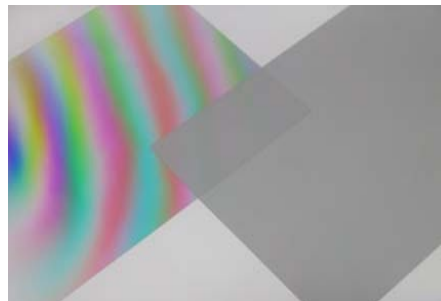
進捗状況（海外展開加速）



進捗状況（新製品）“SRF”

液晶用ポリエステルフィルム，“超複屈折フィルム”

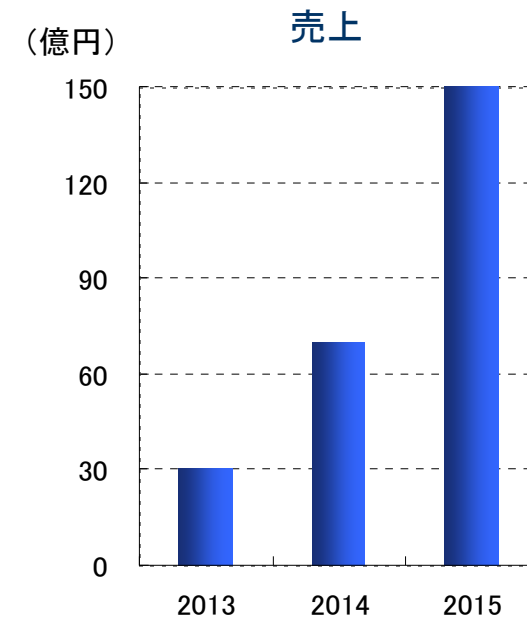
- ・ 主要用途：偏光子の保護フィルム
- ・ 現在使用されているTAC、その代替候補材料であるCOPやアクリルに対して、価格競争力あり
- ・ ユーザーは既存製造ラインを使用可能
- ・ 韓国メーカー1社で採用済、台湾メーカー2社での評価も進む



虹むらの解消

12年12月販売開始

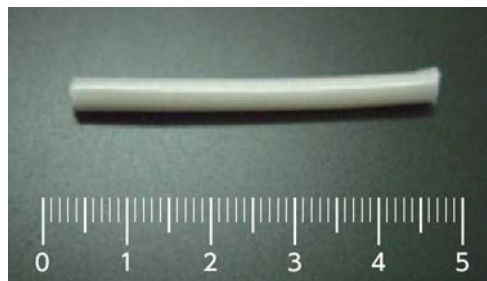
15年度売上目標：150億円



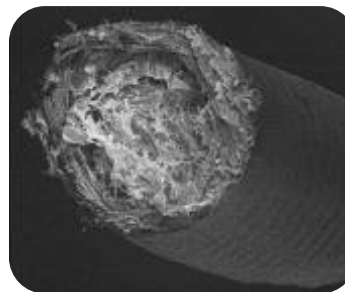
進捗状況（新製品）“ナーブリッジ”

損傷した末梢神経の再生を誘導する治療用医療機器

- ・ 国内初の神経再生誘導チューブ
- ・ 神経縫合や自家神経移植を代替、一次救急病院でも使用可能
- ・ 材料は体内に吸収され、消失
- ・ 2013年7月1日の保険適用後、本格販売開始
- ・ 米国、欧州、アジアなど、海外市場を調査中



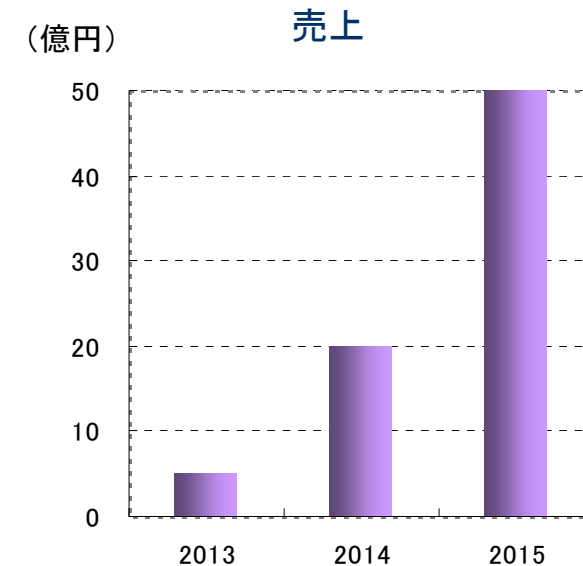
“ナーブリッジ” (cm)



断面図

13年3月販売開始

15年度売上目標: 50億円



進捗状況(M&A) スピンリアクト社

スペインの診断薬・診断機器製造販売会社を買収
～バイオ事業では初のM&A～

【目的】

- ・ スピンリアクト社が世界90ヶ国にもつ販売ネットワークを活用し、東洋紡のバイオ製品を販売
 - ・ 製品ラインアップの拡大
 - ・ 欧州における生産基地の確保
- ＜製品・販売ネットワークを“補完”＞

買収時期：2013年7月31日

**能力増強投資・海外展開加速
のための戦略としてのM&A**



Spinreact S.A.U.

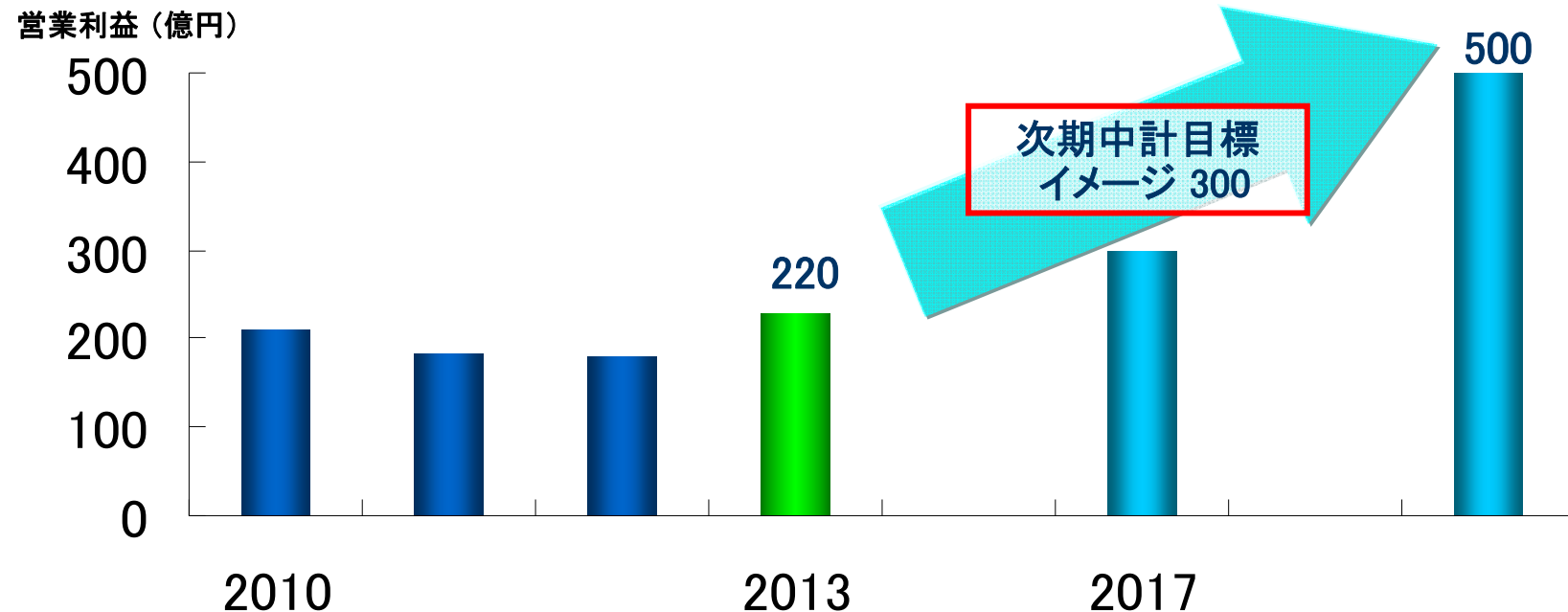


次期中計の位置づけ

<目指す姿>

- 環境、ライフサイエンス、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー
- 「成長力」と「安定性」を備えた『強い会社』 ～変化に対応できる企業～
- 売上高 5,000億円、営利 500億円(ROA10%以上)、D/E=1.0倍

～目指す姿に向けて、次期中計を策定中～



IV. 訴訟

訴訟関連

＜概要＞

- ① 03年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故:1件)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起

＜解決済みの訴訟－いずれも和解による解決＞

- ・購入者からの集団訴訟－2005年10月
- ・事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)－2006年から2007年
- ・ドイツ州政府からの訴訟－2009年2月
- ・防弾ベストメーカーからの訴訟－2011年7月(2件)および2012年3月

＜訴訟状況＞

(2013.11.5現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		防弾ベストメーカー			政府関係
原告	購入者	警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ポイントブランク	ファーストチョイス	ドイツ州政府
状況	和解成立 (05年10月)	和解成立 (06～07年)	訴状受取後 動きなし	証拠開示 手続済	和解成立 (11年7月)	和解成立 (11年7月)	和解成立 (12年3月)	和解成立 (09年2月)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件	1件	1件

補 足

スペシャルティ事業と展開市場

市場 事業セグメント	自動車	電子・ 情報表示	環 境	ライフ サイエンス	生活・ 安全
フィルム・ 機能樹脂 産業 マテリアル ライフ サイエンス	エンジニアリングプラスチック エアバッグ用基布 機能フィルター 不織布 	光学用フィルム 高耐熱性成型用樹脂 共重合ポリエステル ポリオレフィン用接着付与剤 アクリレート系機能樹脂 	太陽電池バックシート用フィルム  PET用新触媒 VOC処理装置 機能フィルター 水処理膜	ライフサイエンス  医用膜 診断薬用酵素 診断システム 医薬品製造受託	包装用フィルム スーパー繊維 機能性クッション材  化粧品原料

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社